

きのくにロボットフェスティバル2018

「きのくにロボットフェスティバル」は今年で12回目の開催を迎えます。全日本小中学生ロボット選手権やスーパーロボットショーなどが行われ、子供たちにもものづくりの楽しさやロボットのおもしろさを実感してもらえるイベントとなっていますので、ぜひこの機会にご来場ください。

- ◆ **日時** 12月16日(日) 9:20～
- ◆ **場所** 御坊市立体育館（御坊市藺76番地）
- ◆ **内容**

☆全日本小中学生ロボット選手権

- ・小学生部門「ミッション・イン・ブッシュ」
- ・中学生部門「ストレート・ダイス」
- 県内外の予選会から選抜された小中学生による自作ロボットの性能・操作を競うトーナメント

☆きのくに高校生ロボットコンテスト

- ・「シューティングOTEDAMA!」
- 県内の競技会から選抜された高校生による自作ロボットの性能・操作を競うトーナメント

☆スーパーロボットショー

- ・研究機関・企業等ロボットによる実演
- ・全国高専ロボコン2018出場の優秀チーム等による実演
- ・海外（韓国）からのロボットも参加（予定）

☆展示

- ・「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」の取組
- ・小中学生発明の「私たちのくふう展」
- ・御坊市少年少女発明クラブ展

☆ロボット操縦体験 など



▲全日本小中学生ロボット選手権（昨年）

今年はこのなロボットがやってくるよ！



■ GankenKun

GankenKunは千葉工業大学のRoboCupチームCIT Brainsによって開発された『自律型の』小型ヒューマノイドロボットです。

RoboCupとは2050年までにワールドカップ優勝チームに勝つロボットを開発することを目標とした競技会で、世界各国の様々なロボットがサッカーを題材に技術を競い合います。

ロボットは自分で見て、考えて、動きます。退場以外は人の手を借りることなく人工知能により動き続けなければなりません。

CIT Brainsは今年の世界大会ではベスト8の成績を収め、テクニックを競う部門では7年連続で1位を獲得しています。

実際の競技の雰囲気を感じていただけたらと思います。

■ 医療用ロボットの操作体験をしよう

川崎重工業は“人を支える”ロボットの開発に取り組んでいます。そんな力ワサキロボットが活躍する現場は、自動車や精密機械の工場などのものづくりの現場に加え、製薬や医療の現場にも広がっています。2013年には、血液・尿検査分野で世界トップの医療検査機器・試薬メーカー、シスメックス株式会社と共同で、株式会社メディカロイドを設立しました。

“医療用ロボットを通して「みんな」が安心して暮らせる高齢化社会をサポートする”を企業ミッションとして活動しています。

展示では、医療用ロボットの操作が体験できます。ぜひお越しください。



- ◆ **主催** きのくにロボットフェスティバル実行委員会
（和歌山県、和歌山県教育委員会、御坊市、御坊市教育委員会、御坊商工会議所、和歌山工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校産官学技術交流会）
- ◆ **問い合わせ** 実行委員会事務局（御坊商工会議所） ☎0738-22-1008